

# 平成29年第5回大田市議会一般質問

平成29年12月7日～

## 1. 松村信之議員【答弁⇒市長】

《一括質問答弁方式》

### 1. 所信表明で掲げられた、共創のまち「おおだ」の実現に向けた基本的な考え方について伺う。

#### 1) 市長が目指す共創のまちづくりの理念と、そのイメージはどのようなものか伺う。

みんなで一緒につくる「共創のまち」の実現のため、どの様な姿勢で臨まれるのか、その実現のためにどの様な取り組みをされるのか伺う。

また、その実現のために市役所はどのような役割を担い、一方、市民には何を期待されるのか伺う。

#### 2) 市政運営の基本的な考えについて伺う。

「市民に分かりやすい市政」「誰でも意見の言いやすい市政」「常に前向きな市政」の3つを市政運営の基本的な考え方とされていますが、それにはどのような考えや目的があるのか伺う。

また、市政推進の柱となる政策施策について伺う。

これまでの経験を活かし産業施策に力を注いでいきたいとの強い思いを述べられています。具体的な方向性は予算編成の議論を通じ明らかにされるとは思いますが、現時点での産業振興に向けた方向性や考え方についてお聞かせください。

そして、その取り組み事例や対応策といった具体的な処方箋があれば、それらを含めて解りやすくお聞かせください。

## 2. 胡摩田弘孝議員【答弁⇒市長】

《一括質問答弁方式》

### 1. 大田市が抱える4つの事業について、市長の考え方、方向性について伺う。

楫野市長が就任され、「楫野丸」の船出となり、11月20日には「みんなで一緒に共創のまちおおだを創りましょう。」と市長所信表明をされたところです。

市長は、市民参画による明るく元気な新しい「おおだ」を創りあげていく。そのためには、市民との対話を重視し、現場主義に徹し、何事にも積極果敢にチャレンジしていきたい。それが私の使命であり、思いだと表明されました。

そこで、大田市が抱える当面4つの課題について、市長のお考え、今後の方向性について所見を伺います。

- ① 大田市立病院の建設と医師確保について
- ② 道の駅設置について
- ③ 大田市駅周辺のまちづくりについて
- ④ 大田市新可燃物処理について

## 3. 福田佳代子議員【答弁⇒市長、関係部課長】

《一問一答方式》

### 1. 市長の政治姿勢について

#### 1) 憲法について

憲法が施行されてから70年、国民主権、基本的人権、平和主義、戦後のありようを示した3つの柱は、今国民の中に深く根付いています。この憲法を生かした市政であってほしいと思う。平和でなければ私たちの日常はなくなるわけで、核兵器禁止についてもこれまで毎年行われている核兵器禁止世界大会へ協力していただきたいと思えます。所見を伺います。

#### 2) 消費税について

市民の暮らしが大変な中で、消費税10%の引き上げは厳しいものがある。地域経済と市の財政への影響を考えたとき、消費税引き上げはやめるべきと思う。所見を伺います。

### 2. 住民の願い実現に向けて

#### 1) 税や保険料の負担を軽減することについて

固定資産税や国民健康保険料、介護保険料の軽減について所見を伺います。

#### 2) 子育て支援策として、保育料の負担の軽減と子ども医療費を高校生まで無料にすることについて所見を伺います。

#### 4. 大西 修議員【答弁⇒市長、教育長、関係する執行部】

《一問一答方式》

##### 1. 仁摩道の駅（仮称）について

整備の目的として、地域の循環型経済の活性化を図ることを明記すべきと考えるが、所見を伺います。

- 1) 運営内容、出店者等の検討で、地元の農林漁業者、加工業者、販売者などの計画的な出荷体制の確立など伺います。
- 2) 現在ある道の駅のギンザン市場、温泉津ふれあい館との連携など伺います。

##### 2. 部落差別の解消の推進に関する法律について

この法は、全6条からなり、①永久法であり②「部落差別」の定義がなく③旧対象地区を掘り起こし、対象住民を洗い出しかねない「差別の実態調査」を規定し④国や自治体に施策を求めるなど「部落差別の解消」どころか「部落差別の固定化」になりかねないものです。大田市ではどうするのか伺います。

##### 3. 教育環境の改善について

少人数学級の推進や学校施設の充実、教員の多忙解消など、教育環境の改善こそ教育行政の役割と考えます。特に、空調（冷房）設備の計画について伺います。

#### 5. 森山明弘議員【答弁⇒市長】

《一括質問答弁方式》

##### 1. 去る11月20日の臨時議会において、市長が所信表明で述べられた、行政運営にあたっての考え方について、一括質問答弁方式で質問させていただきます。

現状を的確にとらえ、課題に立ち向かい、明るく元気な新しい「おおだ」を実現するため、行政運営にあたっての考え方は、一人ひとりを大切に行政の実現であると述べられました。

具体的な取り組みとして、2点挙げておられます。

- 1) 市民の皆さんと市の職員は、幸せに生きるために行動する同志であり、市の職員は、幸せを求めて生活する市民の皆さんと共に走りながら、サポートする存在でなければならない。このために、職員が働きやすい職場づくりを進めると同時に、職員一人ひとりの企画力・営業力を養い、現場に出向き、課題を共有し、解決に向かう職員の育成を進め、市民の皆さんに信頼される大田市役所を目指す、とされました。具体的な手段と成果の検証方法について伺います。
- 2) 「市民にわかりやすい市政」、「誰でも意見の言いやすい市政」、「常に前向きな市政」に取り組むと表明されました。実現していくために、克服しなければならない課題は多く、一朝一夕に達成できるものではないことは想像に難くありません。具体的に、どのように取り組んでいかれるのか伺います。

#### 6. 森山幸太議員【答弁⇒市長、教育長】

《一括質問答弁方式》

##### 1. 共創のまち「おおだ」について

楯野市長は、このたびの市長選挙で制作された政策パンフレットの中で、『みんなで、いっしょに共創のまち「おおだ」を創る～未来の大田市を私とともにつくりましょう～』というスローガンを掲げておられます。まちづくりは、行政だけでも、市民だけでもなく、一体となって進めるべきものであって、市長の考えに全く同感です。

そこで、市長は具体的にどのような手法で市民と共創のまち「おおだ」を創るのかお考えを伺います。私は、出来るだけ幅広く市民の声を受け止める必要があると考えており、その手法として「子ども議会」「女性議会」「若者議会」、この3つの模擬議会を実施し共創のまち「おおだ」の実現に向け、未来志向で取り組むことを提案します。所見を伺います。

#### 7. 河村賢治議員【答弁⇒市長、関係部長、次長、課長】

《一問一答方式》

##### 1. 大田市の地域交通について

- ① JR線の鉄道利用、市長の大田市駅バリアフリー化について伺う。
- ② 地域交通対策事業、バス交通の今後について考えを伺う。
- ③ タクシー空白地の対策（公共タクシー、住民輸送）を伺う。

#### 8. 小林 太議員【答弁⇒市長、関係部課長】

《一問一答方式》

##### 1. 2020年の「第71回全国植樹祭」が循環型林業の推進を謳う中で、その開催地として三瓶山北の原が決定した。併せて、当市も「大田市未来につなぐ森づくり構想」により、森林資源の計画的な産出と流通、植林等多面的な活用を進めている。

また、三瓶山は国立公園満喫プロジェクトに組み込まれ、受け入れ態勢の充実などを期待するところである。森林の持つ多面的な機能が当市にとって重要な資源であることを考えると、これらを総合的に捉え、今後の大田市の産業、観光振興策として、また市民の健康づくりの場所として捉える事が肝要であると考えます。以下、質問する。

- 1) 2020年、当市三瓶山において全国植樹祭が開催される。全国から来賓を迎える当市にとって、どのような準備体制が必要で、どのようなメリットを期待するのか。
- 2) 国立公園満喫プロジェクトでは、大田市としてどのような施策を検討しているのか。ハード、ソフト両面があるとするれば、その事でどのような成果を得るのか。
- 3) 再生可能エネルギーである木質バイオマス発電を、環境循環型の全国植樹祭開催の機会、また国立公園満喫プロジェクトと連携した事業として捉え、市内外への当市の環境政策、産業振興策としてPRすることは有効な手法だと考えるが如何か。
- 4) 国においては、森林環境税が検討されているが、仮に制定されて交付がなされた場合、どのような活用が考えられるか。
- 5) 三瓶山においては、その豊かな自然を活用したウォーキングや登山、クロスカントリーなど様々な取り組みが行われている。また市内では、山、森を活用した健康ウォーキングが開催されている。この機に、健康保養都市「大田」の中心の一つとして三瓶山を捉えるべきと考えるが如何か。

## 9. 石田洋治議員【答弁⇒市長、副市長、教育長、関係部課長】

《一問一答方式》

### 1. 大田市中心市街地活性化について

大田市の玄関口であるJR大田市駅周辺は、これまで様々な経過があり、西側が開発されたが、東側は開発が止まった状況にある。また、旧パルもシャッターが閉まったままで、駅前には生鮮食料品等の買い物や飲食をする施設が少ない状況にあり、市民も早期の駅前の開発を望んでいる。駅通りも近年空き店舗が増え、駅通りを何とか変えたいとの市民グループの動きもある。JR大田市駅の利用についても、2番ホームへの階段の上り降りが高齢者にとっては苦痛であり、エレベーターの設置を含め改善の要望が出ている。このような状況を1日も早く解決すべく、官民一体となって協議していく必要があると考えるが、市長の大田市駅を中心とする市街地活性化について所見を伺う。

### 2. 災害時における飲料メーカーとの災害協定の推進について

阪神淡路大震災や東日本大震災、関東・東北豪雨など、わが国では近年、地震・津波、風水害等多くの災害が発生している。そのような中、被災時には、その初期段階及び避難所において飲料を確保することが重要であるが、最近、飲料自動販売機の中には、災害時に被災者に対し無料で飲料を提供する災害支援型自動販売機があり、災害時に被災者に飲料を提供することを目的に、飲料メーカーとの「災害支援協定」を進めている自治体もある。大田市においても避難場所や病院等において、お湯等飲料を提供できる災害対応型紙カップ式自販機の設置及び災害協定の締結を検討すべきと思うが、所見を伺う。

## 10. 清水勝議員【答弁⇒市長、関係する執行部】

《一問一答方式》

### 1. 平成の合併前を含め6代目の大田市長に就任され、臨時市議会での所信表明、記者会見等で島根県職員として37年間汗を流した行政経験を活かし、元気で魅力的で市民誰もが幸福感の持てるまちづくりに向けて、4年間取り組む決意を表明されています。

また、本市は今、大田市総合計画（後期）の改訂版のもとで市政運営がなされていますが、新しい大田市総合計画を策定し、基本計画・実施計画を示し、将来の市政運営に関する諸施策が具現化されるようですが、所信表明等との整合性が強く求められます。本定例会での市長の所見を伺う。

- ① 安心、安全なまちで誰もが暮らしやすく住み良い大田市づくり
- ② 地場産業の活性化による産業振興
- ③ 県央地に適応した社会基盤づくり
- ④ 石見銀山遺跡、国立公園三瓶山、石東海岸など歴史と文化を生かしたまちづくり
- ⑤ 平和・自由・平等・共生感を持ち備えた共創・参画のまちづくり